

上宮寺通信

第八十七号

浄土の音を奏でる雅楽

11月21日から28日まで本山・東本願寺では報恩講がつとまります。期間中、23日と26日をのぞいて一日一座、雅楽が入る法要があります。

雅楽というと神社の音楽とのイメージが強い方も多いかもしれません。しかし、その歴史をみると仏教とも非常にかかわりの深い音楽もあります。

雅楽は仏教伝来と同じ頃に日本に伝わったといわれています。儀式用の音楽でもあった雅楽は、古くは東大寺の大仏開眼供養の法要に演奏されたという記録もあります。

そんな雅楽ですが、特にその音色から極楽浄土の音楽としてイメージされてきました。

親鸞聖人は「宝林宝樹微妙音自然清和の伎楽にて 哀婉雅亮すぐれたり 清淨樂を帰命せよ」という和讃を作られていました。

この和讃は「宝林宝樹(浄土)

の音はどれもが自然に調和のとれたすばらしい音で、まるで伎楽(雅楽)のようだ。その音には憐みもあれば、澄んだ音もある。正しく聞こえる音もあれば冴えわたる音もある。浄土の音はまことにすばらしい」という意味です。浄土の音はまるで伎

楽(雅楽)のようなものだといわれているのです。

また、「清風宝樹をふくときは

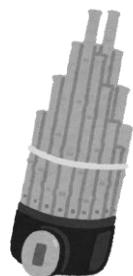
いつつの音声いだしつ 富商(きゅうしょう)和して自然なり 清淨勲を礼すべし」という和讃も作られています。

浄土の音は「いつつの音声をだすといわれます。これは「富商角徵羽」という雅楽に用いられる音階でドレミのようなものです。

そして「富」と「商」は合わない不協和音とされています。

その「富」と「商」が「和して自然なり」。合わない音が自然な心地よい音として流れているのが浄土であるといわれるのです。

このような和讃を見てみると、親鸞聖人は雅楽に理解が深かつたのではないかと思えてきます。



特に「富商和して自然なり」という和讃。雅楽は曲の中で簫と龍笛が半音ずれると「和」という樂の特徴でもあるのですが、音楽的にはよくないことが逆に雅樂らしさを出しているのです。

日常生活の中でも意見が合わない人が回りにいます。その人たちを排除していくのではなく、お互いに認め合っていく世界が大切である。合わないものが合う世界、その世界こそ阿弥陀仏の願う世界です。

その仏の願いを雅楽という音楽は奏でているのです。

◆行事案内

◆話題あれこれ

報恩講
11月8日(土)午前10時~
法要
法話
伊奈祐諦師
引き続き
法話

※午前のみの法要です。持ち帰り用の軽食を用意いたします。

本山報恩講団体参拝（日帰り）
11月27日（木）
東本願寺報恩講（逮夜）参拝、
宇治平等院見学他

修正会
1月1日（元旦・木）
午後2時～
年の初めにぜひお寺に「お参りください」。

東本願寺 報恩講
11月21日（金）～28日（金）
名古屋別院 報恩講
12月13日（土）～18日（木）





公式 LINE

○ホームページ、公式LINE
もよろしくお願ひします。

独1位指名。2位でも大学生投手の櫻井投手を指名しました。近年、獲得した大学生投手が期待したような活躍をしていませんが、その流れを断ち切つてドラゴンズを支える投手となつてほしいのです。（住職記）

○ 今月は上宮寺の報恩講のほか、16日に名古屋別院の定例法話、21日からは京都・東本願寺の報恩講への出仕とバタバタ。そして来月になれば名古屋別院の報恩講があります。あつとう間に今年も終わりということになりそうです。皆様も体調には十分気をつけていただき、せわしいこの時期をお過ごしください。

雜感

昭和区白金一丁目十九番十五号
052-871-0547

上宮寺

真宗大谷派

【発行】

近年、獲得した大学生投手が期待したような活躍をしていませんが、その流れを断ち切つてドラゴンズを支える投手となつてほしいものです。 (住職記)

大学生N1右腕の中西投手を単独1位指名。2位でも大学生投手の櫻井投手を指名しました。

の。中日ドラゴンズは課題となつて、いる投手陣の補強として、

ありましたが、こんな年こそ将来のプロ野球を背負つて立つような選手がうまれると、うも

ドラフト会議の日です。今年は目玉となる選手が少ない感じが

プロ野球ファンとして、一年
二一番そつそつこなまう田が